

# 広報 おおの



平成17年（2005年）

No. 718



## 清涼・六呂師高原

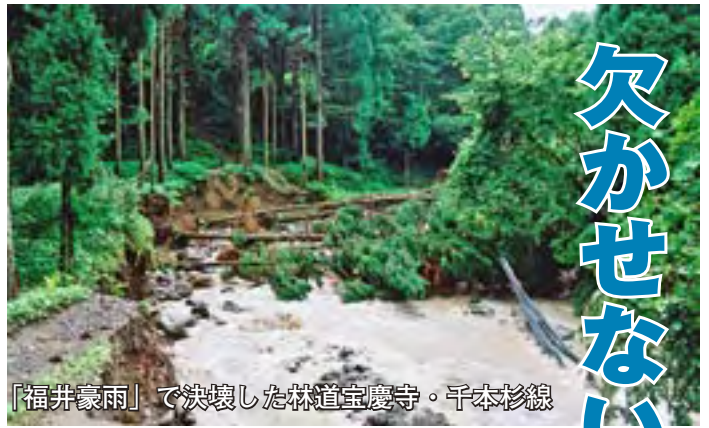
- 右上 バニラアイスクリームの加工体験（ミルク工房奥越前）
- 左上 ミニ動物園（円山公園）
- 左下 欧風露天風呂あります（トロン温泉うらら館）

### 特集

## 災害に「備える」

# 7月号

# 欠かせない



「福井豪雨」で決壊した林道宝慶寺・千本杉線

## 多発する災害

昨年は多くの災害が日本中を襲いました。観測史上最多の十個の台風が上陸し、集中豪雨による水害などが全国各地で起こりました。十月には「新潟県中越地震」が発生。多くの人が家や財産をなくし、今なお仮設住宅での生活を強いられています。

当市でも、七月十七日から十八日にかけて降り続いた「福井豪雨」によって、五十三世帯が床上・床下浸水の被害を受けました。また、宝慶寺の裏山で土砂崩れが起こり、土砂や岩石が境内になだれ込みました。

# 「人」のつながり

嶺北地方を中心に大雨を降らせた「福井豪雨」からもつづく一年。災害は忘れたころにやってきます。今回は、災害が起こる前にやっておきたい「備え」について特集します。

## 何を備えるべきか

通勤・通学途中や入浴中、就寝中など、いつ起こるか分からないのが災害です。

災害が発生したとき、家族はもちろん、親類や隣近所の住民などとの「人」のつながりは欠かせないものです。災害が発生したら、どう行動し助け合っのか、情報を共有しておくことが大切となります。

## 家族で話し合う

防災について家族で話し合います。避難することを想定し、次のことを確認、用意してください。

### ▼避難所の場所・経路を確認

自主的に身を寄せるための避難場所（公園や集会所など）や、寝泊りもできる拠点避難所（それぞれの区ごとに指定された小・中学校など）を「大野市防災マップ」を広げて確認

しましょう。また、避難所までの経路を複数調べましょう。（実際に歩く、地図で調べるなど）



広報おおの7月号と一緒に全戸配布される「大野市防災マップ」

### ▼非常持ち出し品を用意

平成七年一月に発生した「阪神・淡路大震災」では、あらゆるライフライン（都市生活の維持に必要な不可欠なもの）が寸断されました。復旧

には電気や電話で1〜2週間、水道は三カ月を要しました。

そんな時に必要となるのが「非常持ち出し品」です。非常持ち出し品は、両手のあくリュックサックに入れて、安全で分かりやすい場所に保管しましょう。（荷物の目安は男性十五キ、女性十キです）

絶対に用意したいものとしては、水、蛍光灯付きラジオ、懐中電灯、乾電池、保存用食料品、軍手、タオル、救急箱、ガムテープなど。そのほかカセットコンロ、ポリタンク、サランラップ、ウエットティッシュなども用意しておくとう便利です。

家庭環境や個人の状況によって、必要となるものが異なります。入れ歯やメガネ、おむつなど、家族の避難所生活に欠かせないものを優先して用意しましょう。

※水は一人一日三リットルを目安に、家族全員が三日間生活できる分を用意



昨年の水害など、一部の限られた対象区で災害が発生したときは、公民館などの公共施設も自主避難場所として活用できます。



**町内で話し合う**

町内で集まって、日ごろから準備しておくことや災害時の対応などを話し合ひましょう。

**▼各自の避難場所などを発表し合う**

家族で話し合った避難場所や経路について町内の会合などで発表し、情報を共有しましょう。

災害が発生した場合、自主避難場所に避難する人と拠点避難所に避難する人が出てきます。逃げ遅れて助けを求めているのか、すでに避難して無事なのかを確認するためにも、区長や町内の防災担当者が把握しておく必要があります。

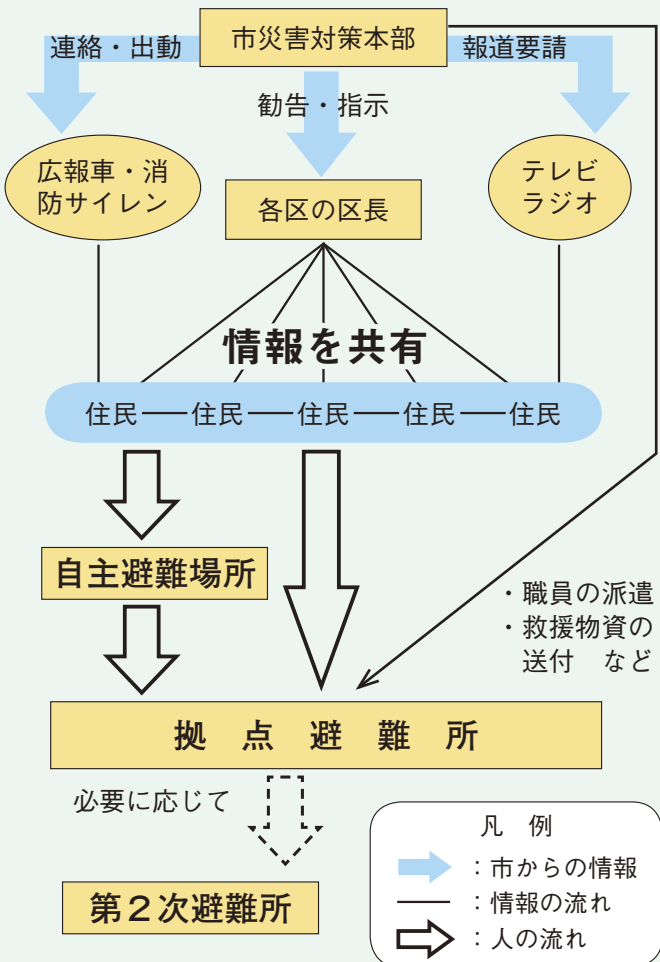
また、乳幼児やお年寄りなどの災害弱者と呼ばれる人が安全に避難するためには、だれかの手助けが必要となります。町内に何人いてどう保護するのかなど、事前に話し合っておきましょう。

**▼自主防災組織をつくる**

災害が発生し、自分の町内が避難の対象となった場合、だれから、どのような方法で避難の連絡が伝達されるかご存じですか。いろいろな情報がいわゆる□□ミで広がり、どの情報を信用して良いのか分からなかったとの体験談を聞きます。

そんな時、町内会に自主防災組織があり、区長からの連絡がだれを通

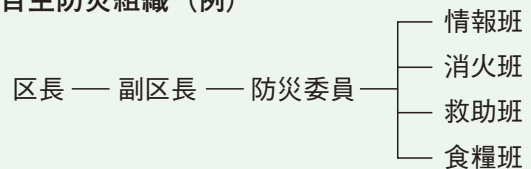
**情報伝達や人の流れ・自主防災組織**



自主防災組織は、地域住民がみんなで協力し合って被害を最小限に食い止めるために重要な役割を果たします。また、役割分担することで、市からの情報がスムーズに伝達され、一人ひとりがやるべきことを自覚できます。

自主防災組織の例を紹介します。この機会に、結成について町内会で話し合ってみましょう。

**自主防災組織（例）**



**各班の役割**

班名	平常時	非常時
情報	・災害の知識収集 ・住民への啓発 ・町内の状況把握	・町内の被害状況収集 ・市への情報提供 ・住民への情報提供
消火	・消火方法の周知 ・初期消火の訓練	・出火防止の広報 ・飛び火の警戒 ・初期消火の実施
救助	・救助用具の調達 ・救助技術の習得 ・危険箇所の把握	・負傷者の救出 ・道路障害物などの除去
食糧	・炊飯用具の確保 ・非常持ち出し品の広報	・被災者への炊き出し ・給水、救援物資の配分協力

※そのほか、非常時に避難所で人員点呼や災害弱者の避難補助を行う「避難誘導班」などを設置するのも良い

**避難勧告？避難指示？**

災害が発生する恐れがある場合に、避難を勧めるために出すのが勧告、緊急の避難を強く訴えるために出すのが指示です。ともに意味としては「避難してください」。より被害の危険が切迫している場合に避難指示を出します。

市の対応

じて伝わるのかを知っていれば、□  
□ミで広がる情報に振り回されるこ  
とはありません。

市では常時、福井地方気象台や大  
野土木事務所、消防署などの防災関  
係機関から、気象や災害に関する情  
報を得ています。

もし、大規模な災害が発生または  
発生する恐れが生じたときは、市災  
害対策本部を設置します。特に必要  
があると認められる区については、  
区長に対し電話で、避難するよう勧  
告や指示を出します。

また同時に、勧告などの対象とな  
る区の拠点避難所を開設。広報車や  
消防サイレン、マスコミなどを通じ  
て災害の状況、避難すべき場所や経  
路などをお知らせします。



避難訓練 (乾側小)

自分の身は自分で



自主防災訓練 (清瀧区)

地震や水害などの自然災害を防ぐ  
ことは不可能です。しかし、事前に  
備えることで、被害を最小限に抑え  
ることができます。

大野地区消防本部では、毎月第四  
日曜日に「普通救命講習会」を開催  
しています。(事前申し込み必要)  
心肺蘇生法や出血時の止血方法な  
ど、救急車が来るまでにできる応急  
手当について、実技を交えながら学  
び、知識と技術を習得できます。  
「自分の身は自分で守る」。できる  
ことから始めましょう。

問合せ先 総務課行政係 (☎66・1  
111内線244)

紹介します！ 市民の防災活動



さくらまつり会場で  
避難所模擬体験を開催

(社)観光協会青年部  
中尾 太江子さん  
(24歳 花房)

社団法人観光協会青年部では、4月のさくらまつり会場で避難所を設営し一晩過ごす「春の災害避難所体験ナイト」を初めて開催しました。

当日は青年部部員や一般参加者約20人が参加。暖をとるため、避難所のテントを新聞紙などで覆い、床にはダンボールを敷き詰めました。また、限りある水を有効利用するため、ダンボールにごみ袋を入れたものをバケツ代わりに作って野菜用、手洗い用などと分けて使用しました。

サラダ油や紙コップ、ティッシュなどを使い、火をおこす小さなランプを作ったのですが、かなり長時間燃え続けていたので感動しましたね。

災害は、いつどこで起こってもおかしくありません。家族の中の一人だけでも、今回のような経験をしておくのと良いと思います。



いろんな情報 みんなで共有

市民活動支援センター大野  
防災プロジェクトリーダー  
長谷川 智一さん  
(30歳 木本)

「市民活動支援センター大野」は、まちづくりに関心のある市民を応援することでまちを元気にしようと、昨年7月に活動を始めました。

昨年の福井豪雨では、メンバーもボランティア活動に参加。それをきっかけに、Eメールを使ってみんなで防災や防犯などに関するいろんな情報を共有できればと「大野あんしんネット」を立ち上げました。現在、100人を超える人が登録しています。

登録や情報料は無料です。下記のEメールアドレスに「あんしんネット登録希望」と入力し、送信してください。

※ono\_anshinnet-owner@yahoogroups.jp



# 第五次行政改革大綱を策定

少子高齢社会の到来や三位一体改革の進展など激変する社会経済情勢に柔軟かつ弾力的に対応し、住民福祉の向上と個性豊かで活力ある地域社会を構築するためには、行政改革への取り組みが不可欠です。

市ではこのほど、第五次大野市行政改革大綱と重点事項推進計画を策定しました。

今後、全庁体制で新たな行政改革に取り組みます。

## 基本理念

「地方分権社会にふさわしい簡素で効率的な行政システムの確立と市民本位の行政運営の推進」

## 基本方針

① 財政の健全性確保に向けた取り組みを進めるとともに、行政の責任領域の見直しなどにより、新たな行財政システムを確立します。

② 新たな事務処理システムの構築による効率的な庁内体制を整備し、職員定数の適正管理や地方分権社会にふさわしい職員を育成します。

③ 市政運営の透明性を高め、説明責任を果たすことによる、市民参加型市政を推進します。

④ IT（情報技術）の活用による行政手続などに対する負担の軽減と、市民サービスの向上を図ります。

## 大綱の推進期間

平成十七年度から二十一年度までの五年間で、目標年次を平成二十一年度とします。ただし、中・長期的な視点で取り組むべきものについては、平成二十六年度を目標とします。

## 重点推進事項

### 1 事務事業の見直し

事務事業や補助金などの整理合理化や民間委託などを進め、事務の簡素効率化や統合を図ります。

### 2 組織・機構の見直し

簡素で効率的な行政組織や機構の構築を図ります。幼稚園・保育所については、園児数の動向により統廃合を進め、小・中学校では再編に伴い業務体制を見直します。

### 3 外郭団体などの見直し

運営の改善指導を行い自立化を促すとともに、目的が類似した団体については統廃合を進めます。

### 4 定員・給与の適正化

合併時に約四百人となる職員数を平成二十六年度末までに約一割減の三百六十人とします。能力や業績を反映した給与制度とし、給与の適正化を図ります。

### 5 人材の育成・確保

人材育成や職員の意識改革を推進し、人事交流や女性職員の登用に努めます。

### 6 情報化など行政サービスの向上

#### 新たな行政運営の推進

行政サービスの総合化や質の向上、事務処理の効率化に努め、高度情報通信技術を積極的に活用して、行政の情報化を推進します。また、NPOやボランティア団体などとの連携を推進します。

### 7 公正の確保と透明性の向上

透明性の高い開かれた行政を目指すため情報公開を推進し、市民に積極的な情報提供を行います。

### 8 経費の節減合理化など財政の健全化

経費全般について節減合理化と予算の厳正な執行を行い、計画的な財政健全化に努めます。また、市税などの徴収率向上など自主財源の確保を図り、市民相互の受益

と負担の公平性を保つため、使用料や手数料を見直します。

### 9 公共施設の効率的運営

施設の有効活用や連携などによるサービス向上を目指しながら、多角的な利用促進と利用率の低い施設の整理合理化を図ります。

### 10 公共工事のコスト縮減・入札の改善

公共工事のコスト縮減に積極的に取り組み、公共工事の入札について市独自の電子入札システムを導入します。

### 11 広域行政の推進

大野・勝山地区広域行政事務組合の業務見直しや消防行政の広域化について、圏域内における一層の連携強化と消防機動力の強化を図るため、関係自治体と協議を進め、広域行政体制の強化に努めます。また、消防団については組織再編を行い、適正な定員管理を行います。

第五次大野市行政改革大綱と重点事項推進計画の詳細については、市のホームページで公表しています。

また、推進の実施結果については今後、適時公表します。

※ <http://www.city.onofukui.jp>

問合せ先 企画課企画政策係 ☎66

・11111内線433(3)



## 転出・転入など届け出る人へ

# 「本人確認」に協力を

近年、第三者が本人になりすまして転出や転入などを行う事件が発生しています。

総務省の発表によると「なりすまし」による転出・転入届を市区町村が警察に告発した件数は、平成十五年間で百三十四件だったものが、十六年四月から十二月末の九カ月間で百八十五件と五十件以上も増加しています。

第三者によるなりすましを防止し、住民基本台帳の正確な記録を確保するため、総務省では「住民基本



## 9月1日スタート

台帳事務処理要領」を改正。全国の市区町村に対し、窓口で身分証明書などを提示してもらう「本人確認」を行うよう求めています。

この要請を受け、当市では九月一日から本人確認を行うこととなりました。

### 変更のポイント

転出や転入、転居といった住民異動届は現在、届け出人が本人または同じ世帯の人であるかどうか聞き取りを行った上で、届け出書に記名、押印してもらい受理しています。（届け出人が本人または同じ世帯の人でない場合、委任状の提出が必要です）

九月一日からどのように変わるのか項目ごとにまとめました。

#### 対象となる届け出

転出届、転入届、転居届の三種類  
本人確認の対象者

市民課窓口へ届け出書を持参した人  
本人確認の方法

次のいずれかの方法で確認します  
① 旅券（パスポート）、運転免許証

## 市民課の主な証明書の種類と請求方法

種類	戸籍	住民票	印鑑登録証明書
定義	本籍、両親の氏名、続柄、婚姻の有無など、その人の身分関係を証明するもの	住所、氏名、生年月日、世帯主など、その人の居住関係を証明するもの	大野市に登録した印鑑の印影を証明するもの
請求できる人	戸籍に記載されている本人、配偶者、直系血族（※1）	本人、本人と同じ世帯の人	本人
代理申請の場合	請求できる人の委任状が必要	請求できる人の委任状が必要	本人の実印が押してある委任状が必要
必要書類	印鑑（代理申請の場合、代理の人の印鑑も必要）	特になし（代理申請の場合、代理の人の印鑑が必要）	・印鑑登録証（カード） ・印鑑（代理の場合、代理の人の印鑑も必要）
請求先	本籍地の市区町村	住民登録してある市区町村（※2）	住民登録してある市区町村
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>戸籍は本籍地のある市区町村でしか請求できません</li> <li>戸籍の筆頭者は死亡しても変わりません</li> <li>本籍は住所ではありません</li> </ul>	同じ家に住んでいても世帯を分けている（生計が別と届け出ている）場合は、委任状の提出が必要です	<ul style="list-style-type: none"> <li>証明を受けるためには、事前に印鑑登録を済ませておく必要があります</li> <li>登録証（カード）が無い場合、印鑑を持参しても証明書を発行することはできません</li> </ul>
※1 直系血族とは、自分から見て父母や祖父母、子や孫を示します（兄弟は含まれません） ※2 本人の免許証などを提示すれば、請求できる人の住民票が、全国の市区町村で受けられます。ただし、本籍地の記載された住民票は交付されません			

その他官公署が発行した免許証、許可証または資格証明書、住民基本台帳カードなどで、本人の写真が張つてあるものを提示

② 地方公共団体などが交付する書類を複数提示(健康保険証、介護保険被保険者証、各種年金証書など)  
※本人が自署した会員証やポイントカード、預金通帳や社員証などは対象となりません

③ ①または②の提示がない場合や提示があつた場合でも必要と判断したときは、口頭で質問を行います  
**本人確認ができない場合**

①から③の方法で本人と確認できなかったときや時間外に届け出た場合、本人あてに「住民異動届受理通知」を送付します。転出などの住民異動届を出した覚えがないのに通知が届いたときは、第三者によるなりすましが行われた可能性があります。必ず市民課まで連絡してください。

## 戸籍関係はすでに開始

戸籍の届け出については、平成十五年十一月から同様の理由により、すでに本人確認を行っています。

対象の届け出は婚姻、協議離婚、養子縁組、協議離婚の四種類です。

問合せ先 市民課市民窓口係 ☎66  
1111内線453

## ◆大野市・和泉村合併協議会◆

# 和泉支所・分室 組織体制決まる

第十七回大野市・和泉村合併協議会が六月九日、有終会館で開かれました。

和泉支所と教育委員会事務局和泉

## 和泉支所・分室の主な業務

和泉支所	管理課	総務係	税証明、防災、地域審議会など
	住民課	住民福祉係	窓口事務、国民健康保険、介護など
		保健環境係	保健、ごみ、公共交通機関の利用促進など
	振興課	産業建設係	道路などの維持管理、除雪、水道など
		観光交流係	観光事業、観光客の受け入れなど
教育委員会事務局 和泉分室	教育振興係	学校教育、生涯学習、スポーツ振興など	

分室の組織体制がまとまり、現在の和泉村山村開発センターに和泉公民館を設置し、公民館内に分室の事務所を置くことが報告されました。

また、新大野市の象徴となる花・木・鳥などを募集し、その選定を行う小委員会の設置が協議され、提案どおり承認されました。

## 新市の象徴募集

### 花・木・鳥・魚

十一月七日の合併に合わせ、新市を象徴する「花」「木」「鳥」「魚」を募集します。

**応募基準** 次のいずれかに該当するもの

- ▼市のイメージにふさわしいもの
- ▼両市村の住民に親しまれているもの、またはなじみが深いもの
- ▼希少価値があり、保護育成が必要なもの

## 住民交流会の参加者募集

両市村の住民交流を深めるため、交流会を開催します。

**日時** 八月七日⑨午前九時五十分

**場所** JR越前大野駅集合

**対象** 両市村の小・中学生とその保護者(原則保護者同伴)

**定員** 八十人(先着)

**参加料** 小・中学生一人五百円、大人一人千円

**申込方法** 電話、ファクスまたはEメールで申込書を請求。必要事項を記入し、参加代金を添えて申し込み

**申込期間** 七月四日⑨～二十二日⑨

**申込・問合せ先** 大野市・和泉村合併協議会事務局(〒912-186

66大野市天神町1-11大野市役所 ☎66・1111内線434

65・8371) Eメール gappei@city.ono.fukui.jp

八月十日⑨

※応募は一人各一点

その他 選定されたものを応募した人の中から抽選で、記念品を贈呈します

# 「大野市景観賞」候補を募集

魅力あるまちづくりに向け「大野市景観賞」の候補を募集します。

大野市景観賞は、優れた景観づくりに貢献している建築物や工作物をはじめ、良好な景観維持に貢献している団体などを表彰するものです。

平成九年から始まり、今回で五回目となります。

## 建築部門

五年以内に建築された市内の建築物や工作物、それらが複合する景観などで、次のいずれかの条件を満たすもの

▼デザイン、色彩などが周辺環境に調和し、優れた景観をつくり出しているもの

▼歴史的な景観に調和するもの

▼自然環境の保全に寄与しているもの

▼地区のシンボルとして、優れた景観形成に寄与しているもの

## ※具体的な例

個人住宅・集合住宅・店舗・塀・門・生け垣・庭園・照明灯など

## 活動部門

市内で景観の維持向上に努めている団体など

## ※具体的な例



←第4回景観賞  
建築部門  
鳥山昌純氏所有  
店舗併用住宅  
(元町6-8)



第4回景観賞→  
建築部門  
村上寛典氏所有  
猪野毛邸  
(新田3-8)

ごみ拾いや清掃などの環境美化運動や、まちなみ保全などのまちづくり活動などに取り組む団体

応募方法（自薦・他薦は問いません）

応募する人の住所・氏名・電話番号・景観の名称・所在地・選んだ理由を明記し、写真を添えて提出

応募締切日 八月十日

応募されたものについては、大野市都市景観審議会で審査します。

審査の結果などは、広報おおのやホームページで発表します。

応募・問合せ先 都市整備課計画係

☎66・11111内線354

平成18年3月完成へ

## 広域ごみ埋め立て地工事始まる

大野・勝山地区広域行政事務組合が整備する「広域ごみ埋め立て処分地」の建設工事が、五月に始まりました。

埋め立て地は、勝山市平泉寺町若ケ野にあり、面積約五五〇〇平方メートル。容量は二五〇〇立方メートルで、南新在家で工事を進めている中間処理施設で処理した燃えかすや陶磁器のくずなど、大野市・勝山市・和泉村から出る十五年分を埋め立てます。埋め立て地全体を高密度ポリリチンシートで覆い、埋め立て地に降る雨水が地下に浸透するのを防ぎます。

### 水処理施設を併設

埋め立て地に降った雨水が埋め立てたごみを通過する際、重金属などの有害物質が溶け出します。その有害物質を取り除くため、カルシウム除

去や砂ろ過、消毒など七つの工程を行う水処理施設を併設します。

一部二階建て建物で、一日最大三〇立方メートルを処理。雨水をいったん溜めるための水槽も建物地下部分に備えます。

埋め立て処分地を含めた総事業費は、約九億六千八百万円です。

### 来春から利用開始

現在工事を進めている中間処理施設と合わせ、平成十八年四月からの利用開始を予定しています。

二市一村では現在、ごみの分別方法などを調整中。ごみ分別説明会の開催も予定しています。

問合せ先 大野・勝山地区広域行政

事務組合 ☎66・66990



建設地位置図



埋め立て地に併設される浸出水処理施設



# 健康だより

## 日々の生活に運動を

### 運動でストレス解消

運動をすることでストレスが軽減されるのは、ホルモンの働きが関係しています。少し汗をかいて「気持ちいい」と感じる程度の運動をすると、脳内からストレスを和らげるホルモンが分泌され、神経や筋肉の緊張をほぐしてくれるのです。

また、運動後の心地よい疲れは食欲増進や安眠を促し、ストレスから解放してくれます。楽しみながら長い期間続けられる「自分に合った運動」を探してみましょう。

### 運動苦手な人にオススメ「ながらウォーキング」

運動がどうしても苦手な人は、気の向くまま、足の向くまま道草や寄り道をしながらゆつくり歩いてみませんか。道端の花や草木に目をとめてみると、四季の変化が楽しい、心もリフレッシュできます。

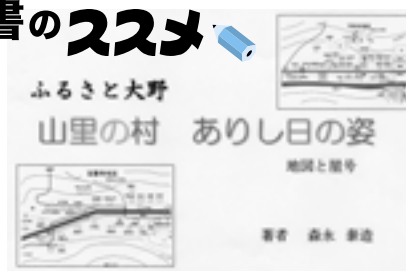
また、気の合う仲間と一緒にしゃべりながら歩けば、思いのほか長い距離を歩けるかもしれません。日々の生活に運動を取り入れ、ストレスをこまめに解消しましょう。

健康おおの21  
今月のキャッチフレーズ  
「運動は何より便利な  
ストレス解消法」



「さわやか貯筋運動」の1コマ。亀山を楽しくウォーキング。

## 読書のススメ



『ふるさと大野 山里の村 ありし日の姿』 森永泰造 著

真名川や九頭竜川の上流には、かつて多くの集落があり人々が生活していました。今月は、その集落の様子を地図で再現した本を紹介いたします。

今年、水害から40年を迎える旧西谷村の各集落など、29地区の地図と住民の名前、屋号が掲載されています。また「村の小話」として、各集落の生活の様子や村に伝わる伝説なども書かれています。

著者が、協力者とともに知り合いを訪ね歩いてまとめた労作です。ぜひ手にとってご覧ください。

## みんなの図書館

### 新着図書

#### 【一般小説】

幸福を売る男（藤田宣永） 透明な旅路と（あさのあつこ） 異物（玄月） 追跡（千野隆司） けい子ちゃんゆかた（庄野潤三） 強情彦左（小島英記） たまたま（大道珠貴）  
【ノンフィクション】

古本道場（角田光代） なぜ、その子供は腕のない絵を描いたか（藤原智美） 凍土の約束（渡辺俊男） 襲名十八代（中村勘三郎） 田辺写真館が見た昭和（田辺聖子） 私の骨董夜話（浜美枝）

#### 【児童図書】

蒼路の旅人（上橋菜穂子） こんなにたしかに（まごみちお） 震度7（松岡達英） わたしは生きていく（ローゾフ） ゆづびんやさんとドロップりゅう（たかどのほつこ） 宮廷のバルトルメ（コーイ） クレイジー・レディー（コンリー）  
【絵本】

うさこちゃんのはたけ（ブルーナ） せかいでいちばんつよい国（マッキー） どつごつのごとば（シエンキングズ） ねっこぼっこ（オルファース）  
その他、四百三十二冊入りしました。

# 市民のページ

●あなたも紙面に参加しませんか。希望する人は、情報広報課広報広聴係まで  
☎0779・66・1111（内線441）

## 魅力ある水辺を復元

### 真名川水辺の楽校 Bioフレンズ

## ぐるーぷ登場



真名川の下流域に整備が進められている「水辺の楽校」。その管理運営を行うグループが「Bioフレンズ」です。

昨年六月、水辺の楽校の計画策定などに協力したメンバーが中心となって結成。現在十二人で、自然環境のモニタリング調査や、子供を対象とした体験学習会などに取り組んでいます。

「川で遊ぶ子供が少なくなつたこと、昔は石がごろごろしていた河原が雑草に覆われ、川本来の生き物や景観が失われてしまったこと。この二つの課題を解決したいと考えたのが始まりでした」と会長の高津琴博さん。

水辺の楽校の整備計画では河原や中州、湧水池などのゾーンごとに、目指すべき水辺環境や動植物の生息目標を設定。多種多様な動植物を復活させるとともに、多くの人が安心して自然と触れ合える、魅力ある水辺空間の復元を目指しています。

Bioフレンズでは、昨年二回のモニタリング調査を行い

水生生物や植物の分布状況を確認。調査結果を体験学習や整備に生かしました。

また「おおの子どもサマーフェスタ」では、大野の水環境を学ぶ「水環境塾」に指導員として参加。子供たちが見つけた水生生物の名前や特徴を説明したほか、川の流れの速さや強さを体験する「川渡り」を行いました。

「水辺の楽校の魅力は、みんなで考え、計画し、整備していけること」とメンバーの矢村健一さん。同じく福田恒夫さんは「昔のように子供たちが河原で遊べる環境をつ



モニタリング調査

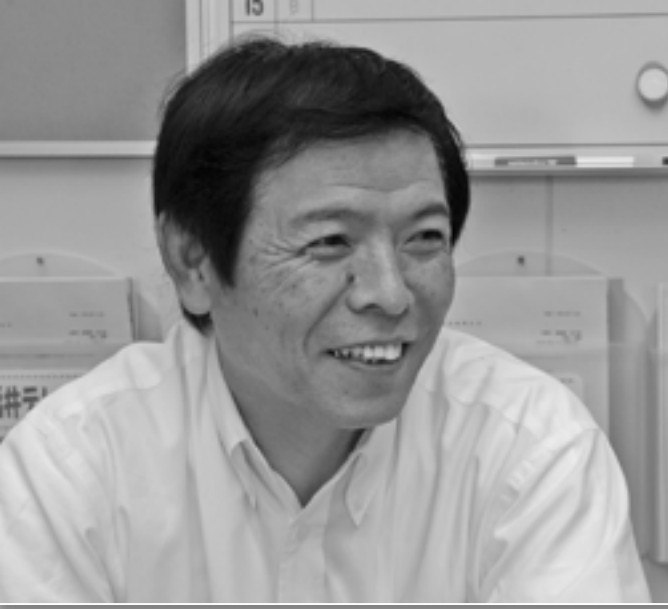


昨年の水環境塾「川渡り」

くりたい。真名川の豊かな自然環境を生かし、川で遊びながらいろいろなことを学べる機会を提供していきたい」と抱負を語ってくれました。

今年の子どもサマーフェスタでは、川の楽しさと怖さを体験できる「水辺探索隊」を七月二十四日に開催予定。昨年同様、水辺での自然観察などを行うほか、川でおぼれなために対処法を学ぶ着衣水泳も取り入れるそうです。

会では、随時メンバーを募集しています。興味がある人は高津さん（☎090・3769・3057）まで。



## 小池清一郎さん (56歳・本町)

小池さんは、釣り歴30年以上のアユ釣り名人です。腕自慢が競い合う全国クラスの大会に毎年のように出場し、一昨年は団体戦で優勝、個人戦で準優勝の見事な成績を収めました。

### —アユ釣りを始めたきっかけは

子供のころからフナやウグイはよく釣っていましたが、アユ釣りは大人になってから。職場の同僚に勧められて始めました。

### —当時から大会に出ていたのですか

初めて出たのは平成元年です。九頭竜川で全国大会の北陸予選が開かれて、ちょっとどんなものかなという軽い気持ちで出たら、優勝してしまっただんですよ。もうまぐれもまぐれでね。それから本格的にのめり込むようになり、毎年いろんな大会に出場するようになりました。

# こんにちは

### —上達のこつがあれば教えてください

何でもそうでしょうが、たくさん経験を積むことが大切です。人よりも早く起きて川へ行き、人よりも遅くまで川に入っている。いろんな場所を探して、より多くの魚を釣り上げる。こうした経験の積み重ねが、自然と上達につながっていくんだと思います。

### —アユ釣りの面白さは

アユを釣るときは、縄張りをつくるアユの習性を利用し、友釣りという釣り方をします。これは仕掛け針を付けたおとりのアユを泳がせておき、攻撃してきたアユをその針で引っ掛けるという方法です。生きたアユをおとりに使うので、いかに自然な状態で泳がせるかがポイントになります。魚の動きをコントロールするのではなく、自然に泳げるように手助けしてやる。そういうところには友釣りならではの面白さを感じます。

### —昔と比べてアユが減っているようですが

以前は1日に100匹以上釣れることもありましたが、最近は30匹も釣れば大漁の部類です。魚が減ったのか、本能が弱くなったのか、釣り人が多くなったのか。魚の生態系や川の環境が変化しているのかもしれないね。

### —間もなく解禁ですね

今年は近年になく、たくさんの天然アユが九頭竜川の河口に遡上していると聞いています。いいシーズンになるよう期待したいですね。

「生きたアユをおとりに使う  
そこに面白さを感じます」



毎朝、お父さんと練習してきた成果が出ました。



廣澤健太さん (右)  
重行さん親子  
有終南小学校3年  
3年親子3位

四位に入れてうれしかった。また来年も走りたいです。



橋本佳奈さん (左)  
盛公さん親子  
富田小学校2年  
2年親子4位

走るのは疲れたけど、入賞できて良かったです。



廣澤啓也さん (左)  
龍也さん親子  
有終南小学校1年  
1年親子7位

優勝できると思ってなかったのですが、びっくりしています。



安下恭生さん  
上庄小学校6年  
5・6年女子1位

少し疲れたけど、気持ちよく走れました。



脇本圭司さん  
有終南小学校5年  
5・6年男子3位

走ることが大好き。一位になれてうれしいです。



澤田夏来さん  
下庄小学校4年  
4年女子1位

普段は、野球部の練習で走っています。



澤田和磨さん  
富田小学校4年  
4年男子2位

五月二十二日に開かれた「越前大野名水マラソン」。市内の小学生もゴールを目指し、元気にっぱいに駆け抜けました。

# いきいき大野っ子





# お知らせ

●大野市役所・大野市教育委員会 ☎0779・66・1111  
住所 〒912-8666 福井県大野市天神町1-1

## 町家住宅の入居者募集



東二番町家住宅



西二番町家住宅

募集団地 東二番(2戸)・西二番(2戸)

規格 2LDK。駐車場(各戸1台)、ペランダ、エアコン、システムキッチン、風呂、トイレ、衛星放送、倉庫、エレベーター

資格 一定の収入基準を満たしている人で、同居の親族を有すること

家賃 月額5万4700円～6万5000円

申込・問合せ先 都市整備課  
住宅緑地係(☎66・1111内線353)

## 市営住宅の入居者募集

都市整備課

募集団地 西里団地

規格 3K風呂無・トイレ有  
募集戸数 1戸

資格 一定の収入基準以内で住宅に困っている人

家賃 月額6600円～1万900円

申込期限 7月22日(金)  
申込・問合せ先 都市整備課  
住宅緑地係(☎66・1111内線353)

## 若者の就職を応援

商工観光課

大野地域職業訓練センター内に、若者向け就職相談コーナー「ミニジョブカフェ大野」を設けました。専門の相談員がキャリアカウンセリングや職業適性診断、就職情報の提供などを行っています。気軽に利用ください。

開設曜日と時間

火曜日 午前9時～午後5時

金曜日 午後1時～9時

問合せ先 ミニジョブカフェ(☎65・6872)

## サマー企業説明会

おくえつ雇用開発協議会

来春卒業予定の大学生や専修学校生を対象とした就職面接会と、高校生やその保護者を対象とした企業説明会を開催します。求職中の人も参加できます。

日時 7月10日(土)午前10時～正午

場所 JAテラル越前本所  
問合せ先 ハローワーク大野(☎66・2408)

## おどり指導員派遣・ボランティアの募集

### ●おどり指導員派遣

越前おおのおどりの練習を行うグループに、指導員の派遣や、おどりカセットテープの無料配布を行います。

指導員派遣期間 7月1日(金)～8月10日(土)  
派遣先 職場や町内会など

### ●ボランティア募集

おどり会場でうちわの配布やおどりの誘導を行うボランティアを募集します。

実施日時 8月15日(日)・16日(月)いずれも午後7時30分～9時30分

※どちらか1日だけ参加できる人も募集します

申込・問合せ先 おおの城まつり実行委員会事務局(商工会議所内☎66・1230)

## 日本脳炎の接種中止

保健衛生課

今年度の日本脳炎予防接種はすべて中止しました。ただし希望者には、無料で接種を行います。

期間 8月31日(木)まで

場所 市内医療機関

対象 3歳～7歳半

問合せ先 保健衛生課(☎65・7333)

## 各種教室の参加者募集

勤労青少年ホーム

●陶芸教室  
日時 7月13日(土)午後7時～

## 戦没者特別弔慰金

戦没者などの遺族に対し、特別弔慰金が支給されることとなりました。

**要件** 平成17年4月1日現在、戦没者にかかる公務扶助料や遺族年金などを受ける人がいないこと

**対象** 戦没者の死亡当時の遺族で最も支給順位の高い人

### 支給順位

1. 戦傷病者戦没者遺族等援護法による弔慰金の受給権者
2. 戦没者の子
3. 戦没者と生計関係を有していた人
  - ①父母②孫③祖父母④兄弟姉妹
  - ※戦没者と姓が異なる人を除く
4. 上記3以外の人
  - ①父母②孫③祖父母④兄弟姉妹
5. 上記1から4以外で、戦没者の死亡時まで引き続き1年以上生計関係を有していた三親等内の親族

**支給内容** 額面40万円、10年償還の記名国債

**請求・問合せ先** 福祉課社会福祉係  
(☎66・1111内線471)

## 国民年金

国民年金保険料の口座振替方法に「当月末振替」が加わりました。これは各月の保険料をその月の末日に振り替えるもので、翌月末に振り替える「翌月末振替」と比べて1カ月当たり40円の割引となります。当月末振替を希望する人は、福井社会保険事務所または口座のある金融機関、郵便局へ申し込みください。

**問合せ先** 福井社会保険事務所  
(☎0776・23・1002)

## 市民のうごき

		6月1日現在	前月	比
世帯数		11,990世帯	10世帯	
人口		39,180人	-21人	
内訳	男	18,667人	-19人	
	女	20,513人	-2人	
5月中の異動	転入	79人	出生	16人
	転出	74人	死亡	42人



## 越美北線「ふれあい市民号」

**日時** 8月27日(土)午前6時15分  
分にJR越前大野駅集合  
**行き先** ユニバーサルスタジアムオジャパン(USJ)  
**対象** 市内在住の小学生以上  
※高校生以下は保護者同伴  
**定員** 60人(先着)  
**参加料** 小学生5500円、中学生以上1万2000円  
※市の助成金30000円を差し引いています  
**申込期間** 7月11日(金)～8月

**日時** 7月2日(土)午後1時30分～3時  
**場所** 有終会館  
**内容** 講演「大学と地域社会との連携の意義」▽実践報告「04御清水地区でのアーカイブ報告」▽武家屋敷・田村家住宅について「建築的調査より」  
**問合せ先** 教育委員会社会教育課(☎66・1111内線542)

## 大学と地域との連携を考えよう

社会教育課

**12日(金)**  
その他 USJ1日入場券付き  
**申込・問合せ先** 生活環境課  
市民生活係(☎66・1111内線464)

**7月16日(土)・17日(日)**  
六呂師高原  
**家族で過ごす週末自然学校**  
**内容** 森林の散策や自然観察など  
**対象** 小・中学生の子どもがいる家族  
**定員** 15組程度(先着)  
**参加料** 1人8000円(3歳未満1500円)  
**宿泊** 六呂師ハイランドホテル(1組1部屋)  
**申込方法** 電話で(後日、申込書の送付が必要)  
**申込・問合せ先** 六呂師ハイランドホテル(☎67・1301)

**7月23日(土)・24日(日)**  
麻那姫湖青少年旅行村(中島公園)  
**ツリークライミング体験会**  
**時間** 23日午後1時～24日午前9時30分  
**参加料** 無料  
**週末自然教室**  
▽ネイチャークラフト教室(両日)  
▽ポプリ教室(17日)  
▽ハーブせっけん教室(17日)  
**時間** 午前10時30分  
**場所** ミルク工房奥越前  
**参加料** 各500円  
**申込方法** 当日会場で

**魚つかみ捕り&料理教室**(両日)  
**時間** 午前9時30分  
**回数** 6回  
**定員** 各回50人  
**参加料** 500円  
**申込方法** 当日会場で  
※10人以上での参加は、事前に問い合わせください  
**森の音楽会**(23日)  
**演奏** 大野市民吹奏楽団  
**時間** 午後7時30分  
**参加料** 無料  
**問合せ先** 商工観光課観光係(☎66・1111内線335)



おおのネイチャーフィールド2005





### 国文祭向け練習に汗

10月に開かれる国民文化祭・ふくい2005「民謡・民舞の祭典」に向け、オープニングとフィナーレに出演する市民の踊りの全体練習が、5月28日に有終会館で行われました。約120人が参加し、大野音頭としっちょいな節を練習。講師の指導を受けながら、全員の踊りがそろそろまで何度も振り付けを確認していました。今後は踊りにアレンジを加えたり、隊形を整えたりしながら、本番に向けてさらに練習を重ねる予定です。



乾側小 (5月17日)



阪谷小 (5月26日)

### 泥田にちびっ子歓声

市内3小学校で、昔ながらの手作業による田植え体験が行われました。はだしになった子供たちは、一列に並んで田植えを開始。泥の感触に歓声を上げながら一株ずつ苗を植えていきました。秋には刈り取りを行い、収穫感謝祭などを開く予定です。



藤生小 (5月25日)



# 話題のひろば



## 市民学校スタート

さまざまなテーマを楽しく学ぶ市民学校が、6月11日に有終会館で始まりました。第1回はシンガーソングライターの野田淳子さんが「みんなちがってみんないい」と題して、オリジナル曲など11曲を披露。ギターの弾き語りを通して平和や命の大切さを訴えました。

## 稚アユ50万匹放流

7月2日のアユ釣り解禁を前に、市漁業組合が真名川や九頭竜川で稚アユの放流を行いました。放流されたのは、県産約6万匹と琵琶湖産約44万匹の約50万匹。狭いバケツから解放されたアユは、気持ちよさそうに川の中を泳いでいきました。



## マイバッグ使ってネ

「ごみゼロの日」の5月30日、市消費者グループ連絡協議会が市内5カ所の量販店で「マイバッグキャンペーン」を行いました。会員ら20人が、買い物時にマイバッグの持参を呼び掛けるチラシ1000枚を配布。合わせて河川の環境美化も訴えました。

## 城下町華やか「結びくみ展」

帯結びや組みひもを使って城下町大野のイメージを表現する「おおのまち結びくみ展」が、6月1日から6日にかけて平成大野屋二階蔵で開かれました。市内の女性グループ「サークル彩<sup>いろどり</sup>」が企画。会場には華やかな作品61点が並べられました。



## 助役に石倉善一氏

六月八日から二十三日まで開かれた第三百三十八回定例市議会の初日に、収入役を置かずその事務を助役に兼務させる「市収入役事務兼掌条例案」が提出され、原案通り可決されました。

続いて前田佳一氏が辞職し、欠員となっていた助役を選任する議案が提出されました。新しい助役には、収入役の石倉善一氏の選任が同意され、十日付で就任しました。

石倉氏は昭和三十五年に市役所に入り、産業経済部長、総務部長、参与を歴任。平成十四年十二月から収入役を務めていました。

※一般会計補正予算案など、ほかの議案や報告などの詳細については八月号でお知らせします



助役  
石倉 善一氏  
(64歳・田野)

## 表紙のことば

夏の六呂師高原は、のどかな雰囲気を味わいながら散歩やサイクリングするのに最適です。また、多彩な施設がそろっており、家族連れで楽しめます。宿泊もできる「六呂師ハイランドホテル」では、電動自転車やマウンテンバイクがレンタルできます。ほかに、ミニ動物園やバーベキュー広場がある「円山公園」、アイスクリームやカッターチーズの加工体験(要予約)や飲食ができる「ミルク工房奥越前」、入浴施設を備える「トロン温泉うらら館」など。今月16、17日には六呂師高原を会場に「おおのネイチャーフィールド2005」が開催されます。自然体験できるイベントを多数用意。ぜひお越しください。

発行 福井県大野市

編集 情報広報課広報広聴係 ☎0779・66・1111

### 篠座神社(篠座)

社名の「篠」は篠竹の森を、「座」は神が鎮座するところを表しています。八百年ほど前から始まったといわれる伝統芸能の獅子神楽が、毎年四月二十日に奉納されます。



## 景観特選おおの<sup>®</sup>

市が認定した大野らしい建築物や自然など、将来に残していきたい景観を紹介します。



ギリシャの七賢人のひとり、タールスは「あらゆるものの根源は水で、すべてのものが水から生成され、水にかえる」と

という考え方で「万物は水から成る」とした。なるほど、水は万物の命ではある。▼当市はことし十一月に和泉村と合併する。と、合わせて約八七二平方<sup>キ</sup>、面積だけでも県内一で、また山野森林域も広大な所となる。近々市町村の平成大合併が終結すれば、恐らく全国的にも有数な地勢をもつ広域自治体にランク付けされよう。ばかりではない▼なかでも、今も幾つもの水源と河川湖沼に恵まれているが、さらに九頭竜川ほか中小河川、湖沼が加わって数多い水資源に富む。殊に九頭竜、真名川の二大ダム湖は庄巻だーなど。豊かな自然環境が幾層倍する地域と成る▼すなわち自然は郷土の資財。これを活用しないでおく手はなかる。とりわけ希少価値が高い水環境は誇ってよい名水域だ。当市では「水のみえるまちづくり計画」を進めている。市民アンケートも実施されて、集計が待たれるが、寄せられる関心は高い▼ただし、慎むべきは、いかに豊富な資源があっても、命の水はいうまでもなく、使いっ放しの無策な乱費はだめ。活用といっても謙虚であるべきだ。市民の生活環境をより豊かにするために、合併のメリットを生かしたい▼活用はほかに。観光立市面で、例えば、二大湖を結ぶ周遊ラインコースの開発などしてみても…(武藤)